

7-2. 現実の世界とゲームの世界を、比べて考えてみてください。

- ☆1) このゲームでは、「絶対こっちが正解」というものはありませんでした。しかし将来、あなたが同じような状況にであったとしたら、本当のところ、どうしますか？
- ☆☆2) それぞれの問題カードに書かれている状況について（または、10枚のいくつかの問題を選んで）、どうしたらこのジレンマを解決できるか、グループで話し合ってみてください。
- まず、何でもできる万能の人になったつもりで、理想の解決を考えてみてください。お金も「もの」もふんだんにあるとします。
 - 本当にそれを実現することはできますか？できないとしたら、その原因は何でしょう？
 - その原因を取り除く方法はありますか？簡単な解決法は見つからないかもしれませんが、できるだけ理想の解決に近づけるように、どんなことができるでしょう？
- ☆3) このゲームでは1人だけ少数派のとき、金座布団がもらえるルールになっていました。なぜそういうルールがあるのか、考えてみて下さい。
- ☆☆4) ゲームにある状況には、いろいろな条件がついています。それぞれの条件をちょっとずつ変えてみて下さい。
- たとえば、インフルエンザの流行が10日でなく、1ヶ月続いたかどうか？あなたの対応は変わりますか？
 - カードに書かれている役割を変えてみて下さい。もしあなたが女性でなく、男性だったら、その問題にどう答えますか？
- ☆☆5) 問題カードでは、限られた文字数のために、状況が曖昧に書かれているところがあります。「状況が曖昧すぎてわからない」とか、「こういうことが書いてなければ決められない」ということがありましたか？
- ある場合には、どのカードのどの部分だったでしょうか？
 - その状況が詳しく書かれていたとしたら、どう決断しますか？

☆7-3. あなたが実際に経験したジレンマにはどのようなものがありますか？

- あなたが災害にであったときに、困ったことをグループの他のメンバーにお話し下さい。なぜ困ったなあと感じたのでしょうか？
- 災害場面だけでなく、いろいろな日常生活でのジレンマについても考えてみましょう。どんな時にジレンマを感じますか？それはどういうジレンマでしょう？
- なぜジレンマが起こるのでしょうか？
- それは、どのように解決したらいいのでしょうか？

☆☆7-4. もし、皆さんがゲームのルールを変えたとしたら、どういうところを変えたいですか？

- 1) 多数派を予測するのではなく、自分の意見でイエス・ノーカードを出すとしたらどうでしょうか？
- 2) 金座布団をもらえる条件をかえたらどうでしょうか？あるいは、金座布団のポイントを高くしたらどうでしょうか？

7-5. ゲームのおもしろさはどうでしたか。おもしろかったですか？おもしろくありませんでしたか？

7-6. そのほかにありますか。今日は話せたこと、話せなかったことなど、何でもいいですから、「感想」に書いて教えてください。（「感想シート」（添付資料4）を、人数分コピーしてお使いになるか、自由記入用の白紙などをお使い下さい。）

Ⅱ. ゲームのねらいと展開

このルールでは、他者の決定を推測するという作業を通して、他者の意見を広く考えるようにするのみならず、自分の考えについても洞察を深めることができるようになっていきます。私たちが「他者はどうするか」ということを考える際には、「自分はどうするか」をまず考え、それを手がかりに他者の決定を推測することが多いからです。

むしろ、積極的に「提示するのは他者の意見」と明示することで、「自分の意見を人前で述べることにはためらいがある」人や、人前で意見を述べることになっていない人でも、心理的な抵抗が少なく、気軽に参加できるようになっています。

多様な視点を考慮することによって、感染症の対応に対して単一の正解を求めるのではなく、「それぞれの対応の場面で、誰もが誠実に考え対応すること、またそのためには感染症の問題が起こる前から考えておくことが重要であること」を気づくことができることをねらっています。

このような観点に立ったときに、次のような点に気をつけながら、展開をして頂くと効果的です。また、応用ルールの一部も紹介してありますので、参加者の特性に合わせて、適宜選択してお使い下さい。

1. ゲーム実施の注意点

プレーヤー間で自発的に話し合いが進んでいる場合には、そのまま介入しなくて差し支えありませんが、カードの読み上げと結果発表だけでゲームが進行し、あまり話し合いが行われていないように見受けられる場合には、適宜グループに介入して下さい。たとえば、以下のような働きかけ（質問）が考えられます。

(1) イエスノーカードで迷っている様子がうかがえ、最後に出した人に対して「今、大変迷っていらっしやいましたが、どういうところで迷われたのでしょうか？」と、聞いてみる。

(→質問例の 1. の 9))

(2) 逆に、一番にイエスノーカードをだした人に対して、「いま、即決されたように見えました。決断がお早いですね。その理由をお話下さいますか？」(→質問例の 1. の 9))

(3) 2 対 3 など、イエスノーが拮抗しているような場合には、「イエス派、ノー派、本当に拮抗していますね。それぞれどうしてそれを選ばれたのか、理由をお話下さいますか？」(→質問例の 1. の 8))

2. 参加者の座布団の数を確認しながらゲームをふりかえりましょう

(1) 各人の座布団の数を発表

①座布団の数を確認しながら、たくさんの意見や多様な見方がゲーム中に出てきたかどうか、確認します(→質問例の 1.)

②ゲーム中に多様な意見があまり出ていないように見える場合(問題カード)に対しては、「もし条件を変えたらどうなるか」ということを考えてもらうようにします。(→質問例の 2. の 4))

③予測とのずれが大きいところは、意外なだけに自発的な発言が期待できる場所です。ずれが大きかったという状況(カード)を取り上げて全員で議論するのもよいでしょう。(→質問例の 1. の 5) または 7))

(2) 多様な意見を共有し、認め合いましょう

①金座布団は、このゲームでは少数意見が尊重されることを意味しています。そのことに気がついてもらえるようにすることもできます。少数派の意見に重要な指摘が隠れているこ

とは現実にもありそうです。(→質問例の 1.の 5))

②ゲーム進行中も、ひとつの問題について、議論が進行しているようであれば、時間をあまり遮らず、議論が進むのに任せてください。ただし、1枚ずつ議論していると、ゲームが全く進まなくなることもあるので、1問題 10分程度までで打ち切るというように、ある程度時間制限をすることも必要です。

③参加者は、本当はどちらが正しかったのか、すなわち「正解」を求めがちです。過去の資料などがあれば参考に提示しますが、その場合でも、次の点を強調してください。第 1 に、必ずしも「正解」があるとはかぎらないこと、第 2 に、過去の事例が「正解」として語られたとしても、常にそれが正しいとは限らないこと、言いかえれば、「教訓があだになる」こともあること、以上の 2 点です。むしろ、「それぞれの感染症の問題の対応の場面で、誰もが誠実に考え対応すること、またそのためには問題が起こる前から考えておくことが重要であること」に気づけるようにしてください。

(3)現実との違いを考えてみましょう

①このゲームはどのような目的で、なにを学ぶために作られていると思うか、考えてもらってください。その意味では、ゲームの冒頭に「ゲームの目的」について、あまり詳しく説明しない方がいいこともあります。

②ゲームと現実とはどういう点が違うのか、考えてみることによって、現実をシミュレーションして考える思考法が身につきます。

③もし、自分たちでゲームを改良するとしたら、どういう点を変えるのか、あるいは、どういうルールにしたらいいか、と考えると、災害対応に対する新しい視点の発見につながります。

3. クロスノートを使ってゲームをふりかえりましょう

添付資料 2 の「クロスノート」に記入しながら、イエスの判断、ノーの判断のそれぞれにどんな問題があるのか、議論を深めていくこともできます。

個人ごと、またはグループで、それぞれの問題カードについて、「イエスの問題点」、「ノーの問題点」を、できるだけたくさんあげてもらってみてください。

なお、クロスノートは問題点がサンプルとして問題点を数個例示したものと、全く白紙のものとを準備しています。使いやすい方をお使い下さい。サンプル以外の問題については、白紙をコピーしてお使いください。

「問題点」の下の空欄は、参加者が気のついたことを自由に記入してもらったり、どの条件が変わったら意見を変えるのか(→質問例 1.の 10))の例を記入してもらったりするなど、自由にお使い下さい。

Ⅲ. 応用ルール

クロスロードは、ルールを変えることによって、いろいろな遊び方ができます。ルールを変えると、ゲームで発見するものも違ってきます。いろいろ試して、より深い学習につなげてみてください。

1. 「自分の意見を言います」ルール

他の人の意見を予測するのではなく、自分の意見で「イエスカード」、「ノーカード」を出します。

多数派が座布団をもらうという、座布団のもらい方は同じです。すなわち、多数派の人は青座布団をもらえます。たった1人の少数派の場合は、金座布団をもらいます。

2. カラオケマイクルール

- ①青座布団1枚、金座布団1枚を1回ごとに用意します。
- ②順番に1人ずつ「親」になります。最初は親が青座布団を持ちます。親が意見を言ったあと、次に新しい論点を出した人に青座布団を移動します。次に別の論点を出した人がいれば、再度その人のところに青座布団を移動します。これを論点が出つくすまで、座布団を移動します。最後の意見を言った人のところで青座布団が止まります。最後のその人が青座布団、すなわちポイントを獲得します。
- ③青座布団をもらう人が確定したら、つまりすべての論点が出尽くしたら、再度議論をグループでふりかえります。最もいい論点を出した人には、「感心賞」として、金座布団をみんなで贈ります。
- ④これをカードがなくなるまで、10回繰り返します。

3. 裏読み少数派ルール

勝敗の判定を、多数派でなくて、“少数派”とします。

それぞれの問題で、より少ない意見だった方の人たちが、青座布団を1人1枚ずつもらえます。1人だけ少数派の時には、通常ルールと同じく、金座布団が1枚もらえます。

4. ディベートルール

自分の意見に関係なく、読み上げられた「分かれ道」(問題)に対して、イエスまたはノーの立場から、周囲が納得するような、説明を加えなければなりません。

- ①順番が回ってきた人は「問題カード」を読み上げます。
- ②回答者を指名します。
- ③指名された回答者は、自分の「イエスノーカード」を机によくきって伏せ、どちらか一方を引きます。
- ④自分の引いた「イエスノーカード」に従った説明を試みます。
- ⑤他の人たちはその説明を聞いて、イエスノーカードを自分の場に出します。指名された説明者が述べた意見と同じ意見の人(たとえば、イエスの立場で説明をしたとすると、イエスカードの人)が多数派なら、説明者は青座布団を一枚もらえます。特に、全員が説明者と同じ意見になった場合は、すばらしい弁論のご褒美として、金座布団をもらえます。

5. 意地悪ルール

時計回りの順番で進行します。

- ①最初の人、「問題カード」を選び、読み上げます。
- ②次の人は、「イエスノーカード」のどちらかを選びます。

③ 3番目の人は、読み上げられた指示（イエス、またはノー）に従い、コメントを試みます。

④ 他の人たちはその説明を聞いて、イエスノーカードを自分の場に出します。指名された説明者が述べた意見と同じ意見の人（たとえば、イエスの立場で説明をしたとすると、イエスカードの人）が多数派なら、説明者は青座布団を一枚もらえます。特に、全員が説明者と同じ意見になった場合は、すばらしい弁論のご褒美として、金座布団をもらえます。

ポイント：3番目の回答者に、困難と思われる指示(イエスノーカード)を与えることで、困らせることもできます。ただし、あまり、意地悪をすると、今度は自分が“しっぺがえし”を、受けるかも知れません。また、自分が意地悪したつもりでも、相手にとっては、好都合—と言う場合もあるかも知れません。

6.1 人遊びルール

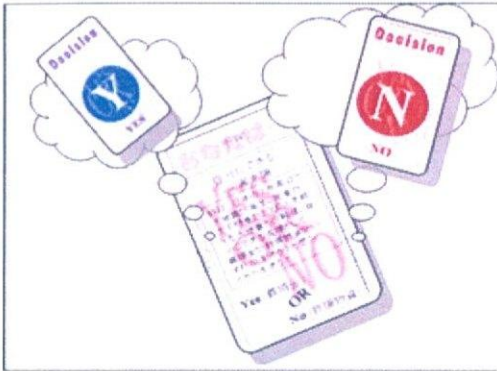
ランダムに引いた「問題カード」に、イエス、ノー、それぞれの立場からのコメントを試みます。

このほか、個人戦ではなく、グループ対抗でやってみるなど、いろいろ変化をお楽しみください。

CROSSROAD

ゲームの流れ

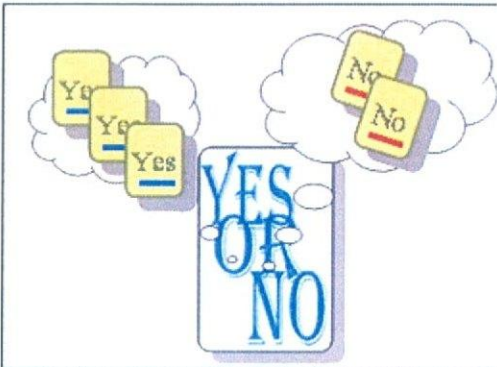
右か左かーどうしよう…？



災害への備えをどうするか、大地震が起こったらどう対応するか。そこでは、私たちの日常生活では思いもよらないような“決断すべき場面”にたくさん遭遇するでしょう…。

クロスロードは
そんな決断の「分かれ道」を描いたゲームです。

予想…！ー多数派は どちらだ？！



まず、皆の答えを予想します。

メンバーの答え(多数派)を予想し、カードをふせたまま出します…。

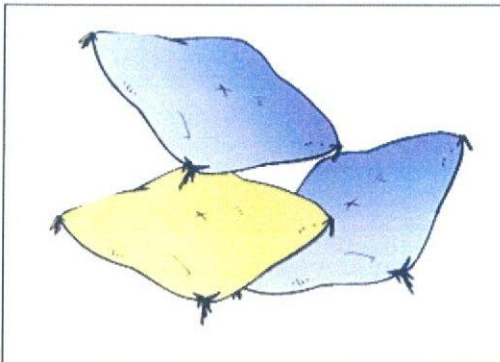
オープン…！



一斉にカードをオープンします。

ー勝負のゆくえやいかに…？！

やった！



みごと、予想が的中！座布団をゲットできました。

でも…

ゲームはココまで、さてココからは、我に帰り、自分だったらどうするか？

ー帰り道で考えてみてください。

遊び方

準備

1. 問題カード……1人10枚ずつ持つ。
2. イエス・ノーカード……1人2枚ずつ
(イエス・ノーの2種類、計2枚)
3. 座布団……全員の目の前 山に積んでおく。

手順

1. じゃんけんで最初の人を決める。(順番は時計回り)

2. 順番が廻ってきたら…

2-1. 問題カードを選ぶ

手持ちのクエスチョンカードから 読み上げるカードを1枚決める。
(どれを読み上げるかは自由)

2-2. 問題カードを読む。

3. 全員で…

3-1. 意思決定

メンバーは全員「多数派の意見」を予想して
手持ちのイエス・ノーカードを選び、裏向けて自分の場に出す。

4. ゲーム(勝敗)の判定

4-1. オープン

一斉にカードを表に返す。

4-2. 座布団獲得

(基本) 多数派の意見であった人は、山から「青い座布団」を1枚取る。

多数派………青の座布団
少数派………座布団なし

(例外) たとえ少数派でも あなたの意見がただ1人 だった場合は
「金の座布団」を1枚取る。

唯一人の意見………金の座布団
その他多数派………座布団なし

5. 読み上げられたカードは、もう使いません。

6. 以上の手順をすべてのプレイヤーが順々に繰り返す。2周して、手持ちの座布団カードがもっとも多い人が勝ち。

Cross Note~それぞれの視点~

イエス・ノーそれぞれの問題点はどこにあるのでしょうか。コピーしてご利用ください。グループの中で共有するためには、拡大コピーをしてお使いになると便利です。

【問題】

あなたは…

(問題状況)

YESの問題点

!
!
!

NOの問題点

!
!
!

メモ

【問題】

あなたは…

(問題状況)

YESの問題点

!
!
!

NOの問題点

!
!
!

メモ

クロスロード感想シート

I. このゲームの中でまわりの人の「決断」について、あなたの感想をうかがいます。

(1) まわりの人の決断で、意外だったものはどれですか（カード番号で記入）

(2) それはなぜですか

II. 他の人の意見で、あなたが「なるほど」と感心した、あるいはためになると思った意見についてうかがいます。

(1) それはどの問題ですか（カード番号で記入）

(2) それは具体的にはどのような意見でしょうか？

III. あなたはクロスロードをやってみて楽しかったですか？当てはまる数字に○をつけてお答え下さい。

1. 楽しくなかった
2. どちらかといえば楽しくなかった
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば楽しかった
5. 楽しかった

IV. その他自由に感想をどうぞ

<p>町長</p>	<p>新型インフルエンザが発生。集会をすると感染者が増える可能性がある。と保健所から助言が。 町主催の成人式が間近だが、開催する？</p>	<p>Yes (開催する) OR No (中止する)</p>	<p>老人介護施設の所長</p>	<p>新型インフルエンザ発生。外部からのウィルスの侵入を防ぐため、入所者の家族であつても、当面、面会などを断る？</p>	<p>Yes (断る) OR No (断らない)</p>
<p>ケアマネージャー</p>	<p>担当地域でインフルエンザ発生。派遣しているホームヘルパーにもかかる者多数。全員に休まれては介護が滞る。 ここは多少無理しても仕事に来てもらう？</p>	<p>Yes (仕事に来てもらう) OR No (休んでもらう)</p>	<p>消防司令</p>	<p>新型インフルエンザ発生。救急隊員への感染を防ぐためには完全防護服で搬送しなければならぬ。ただ、搬送段階では通常のインフルエンザと区別しにくい。 とりあえずインフルエンザ症状の患者は、全員、完全防護服で搬送する？</p>	<p>Yes (完全防護服で搬送) OR No (通常装備で搬送)</p>
<p>一人暮らしの大学生</p>	<p>新型インフルエンザが発生すると、多数の死者、感染者が発生し、商品を手にする事ができない可能性があるという。 とりあえず、マスクや日用品、飲食物などを買いだめしておく？</p>	<p>Yes (買いだめする) OR No (やめておく)</p>	<p>宅配業者</p>	<p>アルバイトの1人が結核に感染していることが判明。それほど感染の可能性は高くないので大丈夫とは思いますが、念のため担当させていた配達先すべてに検診を勧めめるか？</p>	<p>Yes (勧める) OR No (やめておく)</p>
<p>市民</p>	<p>新型インフルエンザの流行がおそろいそうもない。しかし、自宅にこもっている生活もそろそろ限界。子どもも外に出たがるし、自分も買いたいものがほしい。しかし感染は怖い。 どうする？</p>	<p>Yes (自宅にとどまる) OR No (出かけてみる)</p>	<p>病院長</p>	<p>新型インフルエンザが発生。しかし、普通のインフルエンザとの区別が難しい。入院している患者への感染を防ぐため、「インフルエンザの患者は、感染症専門病院へ行ってください」と張り紙する？</p>	<p>Yes (張り紙をする) OR No (張り紙をしない)</p>
<p>保健所長</p>	<p>レジオネラ症の患者が発生。どこから聞きつけたのか、マスコミは本人がよく行っている日帰り入浴施設を疑っている。しかし、現時点で断定できる証拠はない。 念のため施設に営業自粛を依頼するか？</p>	<p>Yes (依頼する) OR No (依頼しない)</p>	<p>保健所長</p>	<p>万が一のバイオテロに備えて保健所でも防護服を購入すべきと言う意見がでてきた。しかし、1着50万円と高価。それでも購入して使用訓練をしておく？</p>	<p>Yes (購入する) OR No (購入しない)</p>

【読者投稿8029】

【読者投稿8030】

【読者投稿8037】

【読者投稿8041】

【読者投稿8042】

【読者投稿8045】

【読者投稿8046】

【読者投稿8049】

【読者投稿8053】

【読者投稿8054】

<p>大学の保健センター長</p>	<p>職員に結核患者が発生。感染拡大がないか確認するために学内に広く広報すべきと思うが、マスコミに知られると大学の評判が悪くなると大学当局が反対する。</p> <p>ここは押しきって広報する？</p>	<p>Yes (広報する) OR No (広報しない)</p>	<p>保健所長</p>	<p>所管の地域で、新型インフルエンザ患者が発生。だが幸いにもまだマスコミ報道では地域名が明らかになっていない。そこへイベント業者からコンサートを中止すべきかどうかの相談が来た。</p> <p>中止を勧める？</p>	<p>Yes (勧める) OR No (勧めない)</p>
<p>保健所長</p>	<p>結核患者が発生。患者が頻繁に通っていた趣味のサークルの人たちにも検診を勧めたいが、当人からは「感染がわかると以後つきあってもええなくなる」と、懇願される。</p> <p>この依頼を振り切って検診を勧める？</p>	<p>Yes (勧める) OR No (様子を見る)</p>	<p>ホテルの経営者</p>	<p>新型インフルエンザ患者が発生とマスコミが連日報道している。折も折、近隣の病院の看護師数名から宿泊予約が入った。</p> <p>予約を断るか？</p>	<p>Yes (断る) OR No (受ける)</p>
<p>保健所長</p>	<p>新型インフルエンザの報道が増えつつあるところへ、ある養鶏場で鳥インフルエンザが発生。農政課職員は予防的にタミフルを飲んだが、近隣の住民からもタミフルを飲ませて欲しいと要望が来た。</p> <p>要望に従って投与するか？</p>	<p>Yes (投与する) OR No (投与しない)</p>	<p>保健所長</p>	<p>大きな集団感染事件が発生。取材が増えて本来の業務ができない。所内で検討したい案件もあるが、密着取材をされて話もつかつにできない。</p> <p>思い切って記者に「出て行ってくれ」というか？</p>	<p>Yes (言う) OR No (我慢する)</p>
<p>感染症研究者</p>	<p>新型の感染症が発生。当該分野の専門家は少なく、マスコミからの取材が殺到。対応していたら状況の解明が遅れる。他方、一般への情報提供も責務と感ずる。</p> <p>マスコミに対応する？</p>	<p>Yes (対応する) OR No (対応しない)</p>	<p>本庁の担当課長</p>	<p>他県の特別養護施設でノロウイルスによる死亡者多数。マスコミから本県施設は大丈夫かと問い合わせがあり調査したところ、集団感染がある施設が発見された。すでに終息に向かいつつあるが、施設名を公表するか？</p>	<p>Yes (公表する) OR No (公表しない)</p>
<p>保健所長</p>	<p>SARS患者の立ちまわり先のホテルで床までアルコール消毒。非科学的だから中止すべきだと専門家が主張している。</p> <p>消毒を続ける？</p>	<p>Yes (続ける) OR No (中止する)</p>	<p>看護師</p>	<p>勤務する病院に、新型インフルエンザの患者を受け入れが確定。しかし、自分を介して保育園に通うわが子に感染するのではないかと心配。</p> <p>理由をつけて欠勤するか？</p>	<p>Yes (欠勤する) OR No (出勤する)</p>

【感染対策8001】

【感染対策8002】

【感染対策8009】

【感染対策8016】

【感染対策8017】

【感染対策8019】

【感染対策8020】

【感染対策8022】

【感染対策8023】

【感染対策8027】

Decision



YES

Decision



NO

Decision



YES

Decision



NO

Decision



YES

Decision



NO

Decision



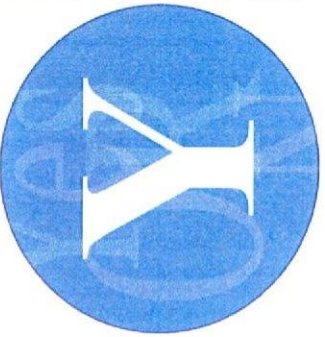
YES

Decision



NO

Decision

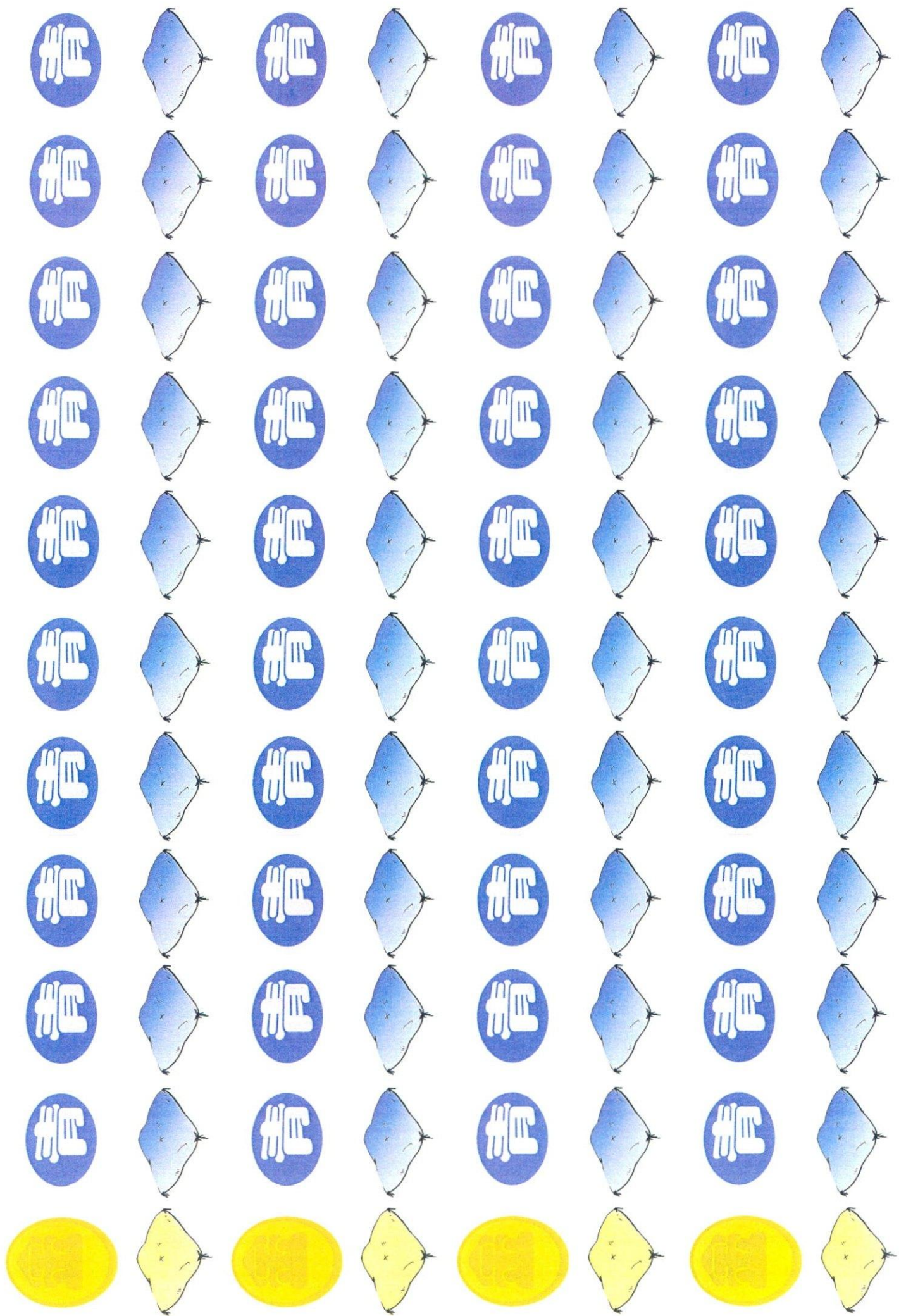


YES

Decision



NO



厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業

「大規模感染症発生時の効果的かつ適切な情報伝達の在り方に関する研究」

研究報告書

順天堂大学医学部公衆衛生学教室 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

TEL:03-5802-1049 / FAX:03-3814-0305
